

のびこ

発行:名張市子育てサークル連絡協議会
事務局:名張市桔梗が丘西3番町3街区107番地
名張市子ども支援センターかがやき内
Tel/67-0250 Fax/66-5650

またまたムシムシ暑かたり、雨が続いたりと落ち着かない
天気が続いてますが、コスモスや彼岸花が咲いてたり、
キンモクセイの花のニオイが風に吹かれて感じたり(昔からキンモク
セイのニオイを感じるとキューン♡と切なくなります。)日々自然は
秋になってるんですね。ちなみに私の「秋」になた!!!と
思うポイントは♪「雲」です ☺ 夏のせまってくるようなモクモクと
した入道雲ではなく遠くに感じる^{まが}遠くモコモコとした、雲
(いわゆる、いわゆるの身に似てるから、むしろ雲・むしろの毛に似てるから)
を見ると「あ、夏が経たな」と、切なくなります... (また?! 笑)
そして私の頭の中に井上陽水&玉置浩二の「夏の終わりのハーモニー」
が流れます... (古くてスマセン) としてまた月匈が切なくなります...
(もうええわ、笑)



リンゴ リンゴ キンコ

1. 「なばり」で子育てしたいやん
～よりよいネウホウを目指して～
子育て石井冬会 報告
2. 「まんぷくまる」活動力報告
3. サト協役員によるホンワカエッセイ♡
「花火」

そして言舌は変わりますが幼稚園年長
の娘、母である私にとっても娘にとつ
ても最後の幼稚園の運動会になり
ます。かゆい人ですよね～ウ見て
ただけでいやされます。娘にとって
「憧れ」た「たい」や「表王見」
「リレー」などなどとても楽しんでいる
様子を娘から毎日聞きます♪
最近ぐんと成長を見せる娘、ついに
赤ちゃん扱いしてしまいそうになりますが、
日々にも体も大きくなってきてハッ
おどろく事。そしてまた「あぁ～大きくなたか
と切なくなります... (しつこくスマセン(汗))
そんな「母心」と秋の空」でした(笑)
い)

子育て研修会の開催

9月5日（月）に こども支援センターかがやきと子育てサークル連絡協議会の共催で「なばりで子育てしたいやん～よりよいネウボラを目指して～」と題して子育て研修会を開催しました。55名の親子が集っていただきました。ご参加いただいたみなさま 大変にありがとうございました。



今回は、名張で子育てしているママたちに名張版ネウボラってどういうものなのかをもっと知ってもらおう！日頃 感じている想いや意見要望を出し合い 交流し 深めていこう という思いで企画をしました。

初めに ががやきのセンター長より 名張版ネウボラについて お話がありました。名張版ネウボラとは、切れ目のない支援への3つの「つなぐ」(①人と人・人と地域をつなぐ ②妊娠前から出産・育児期までの時をつなぐ ③保健・医療・福祉のしくみをつなぐ)があるということ。名張には妊娠・出産・育児の切れ目のない支援があり 身近なところでの寄り添いがあるということ。また、この支援・つながりをもつために様々な場所や立場の方々がいてくださることもわかりました。まちの保健室の職員さんのことを「チャイルドパートナー」と呼ぶのだと初めて知る場となったママたちもたくさんいました。

後半の語り合おう！では、子ども医療費のこと・おむつ袋のこと・赤ちゃん訪問のこと・子どもの定期健診のこと・待機児童のこと等々 ママたちの日頃から感じている疑問や意見があがりました。今回 問題解決の場！とまではいかないところもあったのですが、同じ地域に住む 同じ子育てママたちの様々な思いを聞けることが出来てよかった。という声もありました。2児の母である私も 正直 第2子を産み 育児が落ち着く頃まで 名張版ネウボラというものがあることを知らずにきました。だからこそ 今 たくさんのママたちにこの名張の取り組みを知っていただきたい。今回のような 日頃 感じている想いを交流し合える場を大切にしていかななくてはいけないことを皆さんの姿から教わり、この日に感じた想いをこれからにつなげていきたいなと感じました。

最後になりましたが、休館日のなか会場提供くださった こども支援センターかがやき・事前準備から助けた頂いた職員の皆さま・そして託児でお世話になったボランティアの皆さま 大変にありがとうございました。

名張版ネウボラとは・・・

産み育てるにやさしいまち「なばり」をめざした妊娠・出産・育児の切れ目のない相談・支援の場でありシステムです。「ネウボラ」とはフィンランドの制度で「相談・助言の場」を意味します。

2, まんぷくまる, 活動報告

9月17日(土), かがやきにて, まんぷくまるの
人形劇公演をさせていただきました。

演目は、1. オープニング

2. あ〜そ〜ほ〜

まんぷくまるの人形たちが音楽にのって、次々と登場!! うちのまは、よくこのオープニング曲うたいながら家の人形で真似してます。♡

☆
ぶたさんたちが、ケニクしながらも仲良く遊んでいました。すまと...!?



当日は、小中学校の土曜授業の日で、運動会の学校もあって、観に来てくれるかなあ? とちょっとドキドキ♡でしたが、小さなお友達がたくさん来てくれて、すごく「〜」と興味をもって観てくれていたことが印象的でした。

観に来てくれたみなさん、ありがとうございます♡
今回は観に来てなかったけど、観てみたいなあと思ってるみなさん!! また来るから、観に来てね♡

メンバー募集中!!

人形劇、やってみたいなあ♡
と思ってる そのあなた!!
みんなの都合がある時に
練習するよという、ゆる〜い
サークルなので、一度やってみ
ませいかあ!?
かがやきまでご連絡
ください♡



3. “花火”

9月に入ると残暑の余韻があるとは言え、朝晩はすばらん涼び、過ごしやすくなりましたね。さて、みなさんは今年の夏をどう過ごされましたか？

我が家はというと、BBQ、海、キャンプ、プール、花火など、私が今まで過ごしてきた中でダントツによく出掛け、よく遊び、とても充実した夏になりました。

そして、ささやかな子どもたちの成長を感じさせてくれる夏でした。

家族（夫、私、長女5歳、次女3歳）と名張川納涼花火大会に行った時の話です。これまで何度か花火を見に行っていたのですが、娘たちが花火を小怖がる為、15分ほど観賞し帰宅するというのが、夏祭りの恒例のやり方になっていました。

花火が打ち上がる時の爆音に驚いてしまい、花火を染み余韻が消れ飛んでしまえば泣いて喚く娘たちをなだめたり、抱っこしながら、せかすような花火なのに一緒に染めないのは残念だなあと思っていました。

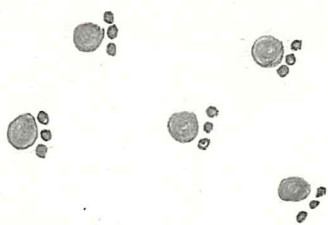
おろそ、去年と同じように花火を小怖がるんじゃないかと思っていましたが、今年は丸違いました。最初の数発こそ少しビビっていたのですが、すぐに慣れたようで、しばらくするとじっと花火を見つめていました。時折、笑顔を見せつつ「今のリボンの形の花火!!」「ピンクでキレイななあ」と言っているのを聞いて、ああ、この1年の間に、いつの間にか少しづつたくましく成長していたのかと思いました。アニメで、悪役が活躍したすとテレビから逃げ出すほどの小怖がりだったんですけどね。その後2人とも泣いたりせず、家族がおだやかに花火見物をしました。

幼稚園などに通い出すと、先生や友達や絵本などを通して、これまでになかったような事を見たり聞いたり経験していく中で、たくさんのお話を日々学んだり身につけていっていったなと改めて感じました。そうやって、少しずつ小怖さとか苦手な事を克服していくのが楽しみです。そういえば長女は、お絵描きだけでなく、文字にも興味を持ち出していて、今はひらがなの練習中です。数年前は、ワヨンで円を描けた事を「すごい!!」と喜んでいましたが、5歳になり、ひらがなで自分の名前を書けるようになる、また違った喜びがあるんじゃないかと思っています。

子どもの成長ぶりは、本当に少しづつで、日々の生活の中でつい見逃がしがちですが、

娘たちの中の“小さくても大きな変化”をこれからも見守っていきたいです。

それと同時に、その変化を“すごいね!”と喜ぶように、心に広くゆとりのある親でありたいです。大人になっても日々努力は必要ですね、娘たちと共に成長していけたらいいなと思います。



CRAYON

